

子どもは減っているけど元気にいこう！

今回ご紹介する先生は、浜田市国府町のさわだこどもクリニック・澤田宏志 先生です。

私の故郷は、鳥取県東部の八頭町という兵庫県に近い小さな町です。梨や柿などのフルーツの名産地です。そんな田舎で小学生のころは、毎日野山をかけずり回っていました。中学生の時、父親が狭心症を発症しました。その苦しむ様子をみて、将来は医者になり父親のように苦しむ人を助けたいと考えるようになりました。

高校時代は数学が得意で、その当時売り出し中の京都大学の竹内均教授にあこがれ、数学学者になりたいと思いました。その思いはどんどん強くなり、結局、医者になるよりもそっちの方が面白そうなので、広島大学教育学部、数学科に入学しました。数学は得意のつもりで入ったのですが、解析学の初期でつまずき、結局夏休みに退学してしまいました。

気を取り直して、医者にも興味があったので、翌年、鳥取大学医学部に入り直し、卒業後、鳥取大学医学部小児科に入局しました。研修を終えたあとは、循環器、新生児を専攻しました。

平成8年に国立浜田病院に出向し、当初は2年間でまた大学に戻る予定でした。2年後、教授から帰ってこいと言われた時、浜田が楽しかったので、もう少し居たい旨を伝えたところ二度と声はかからず、そのままずっといることになりました。

平成17年、よっぽど浜田に縁があったのでしょう。浜田市の東の端、国分町に「さわだこどもクリニック」を開業しました。小児科で開業し、看護師3人、事務3人体制で多忙な日々を送っています。

主に感染症と、アレルギー疾患の方を診察しています。医学の進歩は凄まじく、常識と思っていたことが、数年後には非常識ということは、ざらです。従って新しい知識を得るために、学会参加、雑誌の購読は必須です。

開業当初は、仕事を持つお母さんが受診し易いようにと、夜7時まで診療していましたが、平成22年に少し体調を崩し、以後は夜6時までになっています。

もともと私は浜田医療センターに長年勤務していたので、開業前も後もセンターの先生方には大変お世話になっています。特に専門が小児科なので、小児科、外科の先生にはお世話になりっぱなしで大変恐縮しています。大学在籍時より、循環器、新生児を専門にしていたのですが、一般の外來では前述したように感染症、アレルギー疾患が大多数を占めます。自然と興味もそっちに



移っていき、勉強する機会も増えました。とくにまだ解明されていないことが多いアレルギーの分野はよく勉強するのですが、日々の進歩は凄まじいものがあるので、さぼっているとすぐにおいていかれます。

数年前まで、こうだと言われていたものが、学会でいきなりぽっと新しい説が発表されて、びっくりするなんて言うのは日常茶飯事です。治療法もどんどん変わっていくので、その新しい知識をこの石見地方にフィードバックできればいいなと考えています。

アレルギーで困ったら、受診してみてください。心も身体も元気なうちは精一杯、この石見地方の医療のためにがんばりますので、これからもよろしくお願いします。

さわだこども
クリニック

院長 澤田 宏志

〒697-0033
島根県浜田市国分町1981-132
☎0855-28-3777 FAX0855-28-3773

診療科目／小児科、アレルギー科
診療時間／毎週 月～金 9:00～12:00、15:00～18:00
土 9:00～12:00
予防接種 14:00～14:30
休 診 日／土曜午後、日曜、祝祭日

いつも笑顔で、利用者様に寄り添う看護

続いてご紹介する施設は、浜田市原井町の「なのはな訪問看護ステーション」管理者・品川加奈子さんです。

平成19年10月「株式会社MASA商事」設立後、浜田地域の介護の一助としての事業を始めたいと考え、平成19年12月1日に「なのはな訪問看護ステーション」を開設しました。

看護師4名と事務職員1名の体制で訪問看護事業をスタートさせて10年目となり、現在もこの体制で頑張っています。

社訓に「誠意、感謝、礼儀、反省」「人の気持ちを大切に、安心とゆとりある看護を目指す」を掲げ、自宅で療養されている利用者様やご家族様が安心して豊かな生活が送られるように、24時間対応でお手伝いをさせていただいています。

現在は旧弥栄町などを含めた浜田市を中心に、江津市も実施地域として契約利用者の人数も、30名から40名ほどとなっています。

この地域も高齢化が年々進み、訪問先でもほとんどが老老介護という実態があります。こうした問題を、地域全体で支えていくことも必要ですし、私たちがそれを手助けし、利用者様やご家族様の抱える問題に、少しでも寄り添っていくということを意識して努めさせていただいています。しかし、場所によっては30分以上かかる所や、他の場所に訪問中ですぐにかけつけることが出来ない場合もあります。こうした際に、病院と訪問看護とがよりスムーズに対応できるようになればという思いがあります。

そして、私たち介護や医療の現場で、高齢化とともに問題となっているのは「人材不足」です。浜田医療センターでも同様の問題を抱えているとお聞きました。看護スタッフの人材不足というのは、介護という現場でも深刻な問題となっています。

その問題の背景には、訪問看護の仕事は利用者様のところに一人で行くことも多いことや、仕事も大変だというイメージがあり、訪問看護という仕事に「不安」を感じる方も少なくはありません。

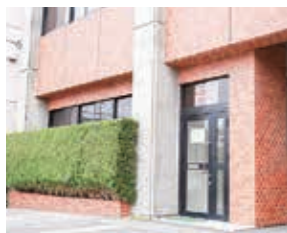
でも私たちが実際の看護の現場で感じているのは、そのようなマイナスのイメージとは違い、とても仕事が楽しいということです。それは、利用者様やご家族様の笑顔や感謝の言葉を聞くと、この仕事にやりがい



を感じます。また、職場の雰囲気もよいので、一人で問題を抱えることもなく何でも話し合え、情報交換も密にできていますから、訪問は一人であっても、チームで動いている安心感があります。またこの頃では、ヘルパーステーションとの同行訪問も増え、多職種との連携も増えています。

こうした不安なイメージを払拭するためにも、私たちが取り組んでいることが「いつも笑顔で、利用者様に寄り添った看護」を常にできるように、みんなで協力することです。

私たちの一番の売りは「愛嬌」です。利用者様、スタッフ同士にもコミュニケーションをとるのを得意としていますので、関係市町村、指定居宅介護支援事業所、介護保険施設、その他の保健医療サービスや福祉サービスを提供する方々と密接な連携をとりながら、これからも看護の輪を少しずつ広げていけたらと考えています。



なのはな訪問看護ステーション

〒697-0017
島根県浜田市原井町908-28
浜田建設会館1F
☎0855-25-8825 FAX0855-25-8826

営業時間／平 日：8時30分～17時00分
定休日：土曜、日曜・祝日、年末年始(12月31日～1月3日)
※営業時間・休日に関わらず、緊急時のご相談受付、訪問を行っています。